

問1 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年

千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 気候の寒化に伴って針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった | 2. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった | 3. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった | 4. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した |
|--|---|--|--|

問2 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. 三内丸山遺跡 | 2. 岩宿遺跡 | 3. 吉野ヶ里遺跡 | 4. 登呂遺跡 |
|-----------|---------|-----------|---------|

問3 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 4. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 |
|---|---|---|--|

問4 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 2. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 | 3. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 4. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 |
|---|--|---|--|

問5 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。 | 2. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。 | 3. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。 | 4. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。 |
|--|--|--|---|

問6 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|--------|---------|---------|
| 1. 鉄器 | 2. 青銅器 | 3. 磨製石器 | 4. 打製石器 |
|-------|--------|---------|---------|

問7 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため | 2. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 3. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため | 4. 大規模な稲作を行うための、種もみを長期間保管するため |
|-------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|

問8 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 埴輪 | 2. 銅鐸 | 3. 石包丁 | 4. 土偶 |
|-------|-------|--------|-------|

問9 佐賀県の東名遺跡（ひがしみよういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。 | 2. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 3. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。 | 4. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。 |
|---|--|--|--|

問10 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 茨城県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 3. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--|

問11 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた | 2. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた | 3. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げた床を作った住居に住んでいた | 4. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた |
|--|---|---|---|

問12 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 2. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 | 3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 4. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 |
|--|--|---|---|